



仔犬

大型犬の仔犬： カルシウムの過剰 摂取は健康な骨 の発達を妨げる

カルシウムは、仔犬のさまざまな機能にとって欠かすことのできない必須ミネラルであるため、適正量のカルシウム摂取はきわめて重要です。カルシウム不足は、くる病や疲労骨折を招く可能性がある一方で、カルシウムの過剰摂取は、骨格形成異常や二次的な栄養素欠乏につながる可能性があります。



キーメッセージ

- 仔犬は成犬とは異なり、消化管から吸収する食物カルシウムの量を十分に制御できません。仔犬はカルシウムを過剰に吸収して保持することが時にあり、骨格形成異常を引き起こす可能性があります。
- 大型犬や超大型犬のカルシウム必要量は、小型犬とは異なります。ただし、すべての大きさの仔犬に、1%のカルシウム（乾燥質量）を含む食餌で十分です。
- カルシウムの過剰摂取はリンの吸収を低下させるため、ペットの食餌で推奨されるカルシウム対リンの割合はおよそ1:1になる必要があります。
- 完全にバランスのとれた成長期用の食餌は、安全域のカルシウム濃度を与えてくれます。このような食餌を与えていれば、カルシウム補助食は不要であり、むしろ有害になる可能性があります。

その他のリソース

Larsen, J. (2010). Feeding large-breed puppies. *Compendium: Continuing Education for Veterinarians*, 32 (5), E1-E4.

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。